

Visor アルミニウム製 RS-K 型 施工要領書

確実な施工を行い、製品の安全を確保するため、施工前にこの「施工要領」を必ずお読みください。



— 目 次 —

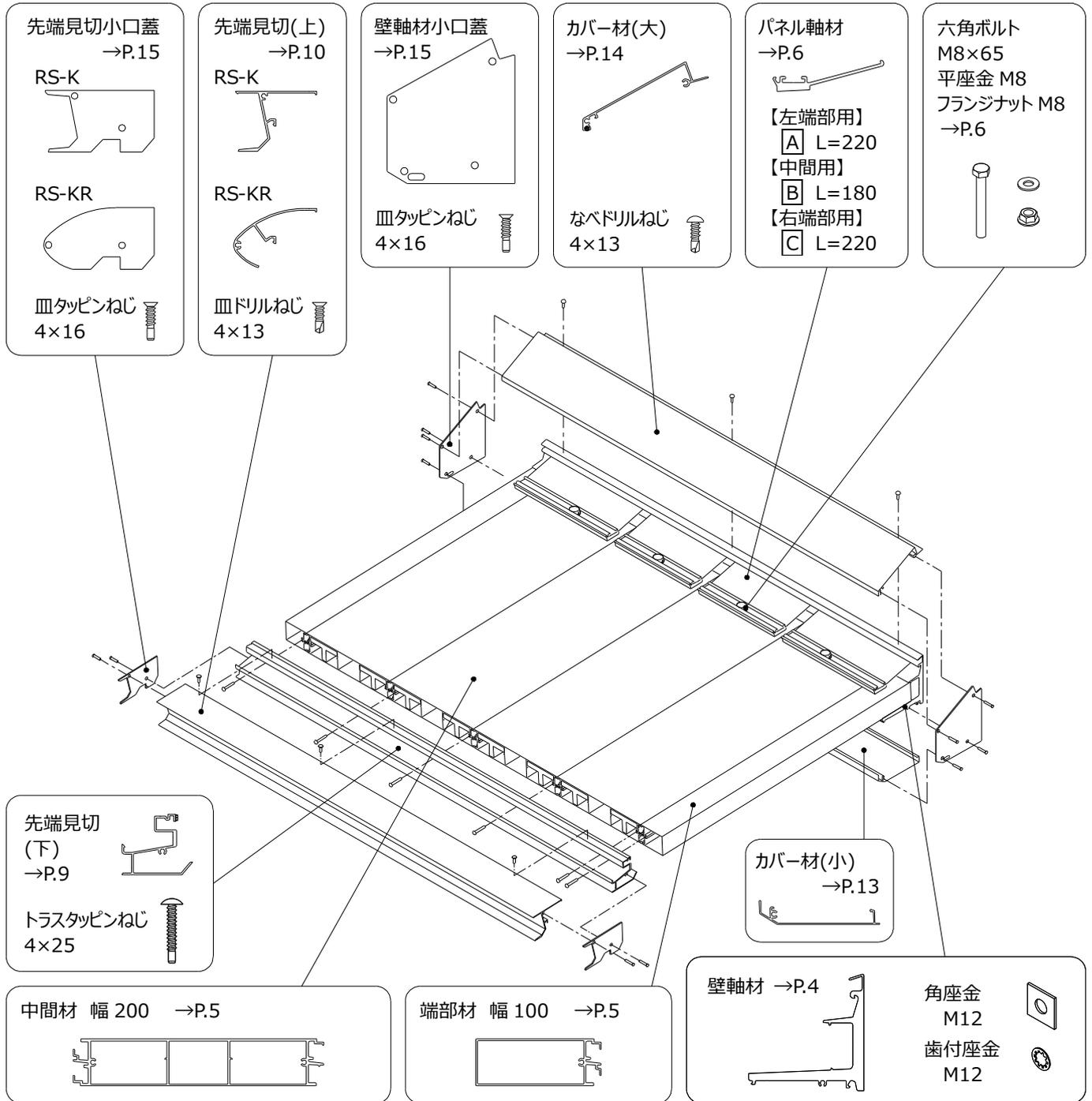
施工上の注意点	1
部材名称	2
施工手順	3~16
施工確認チェックシート	17

施工上の注意点

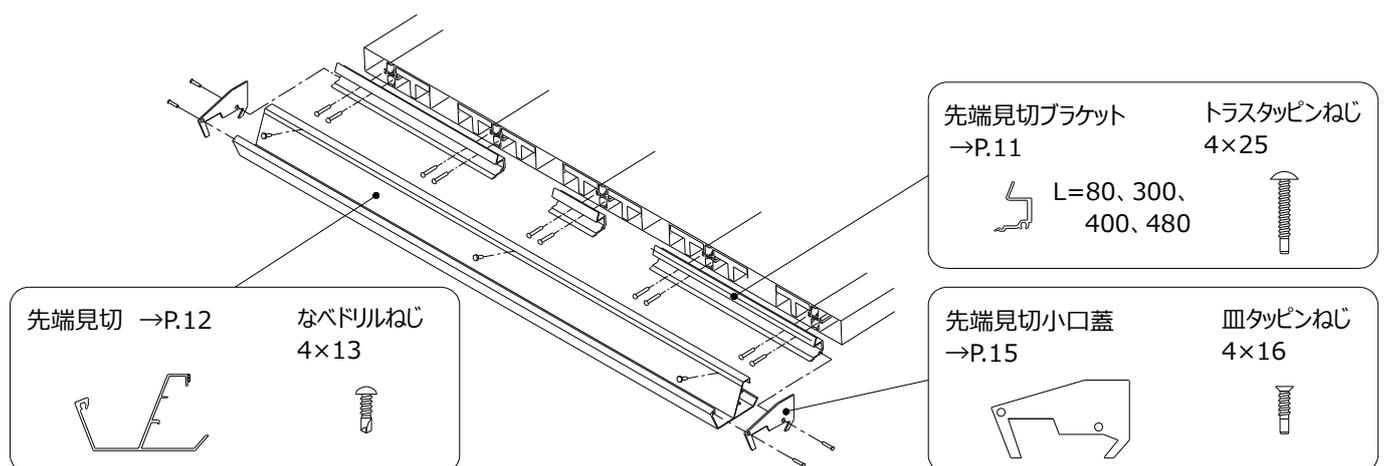
- 転落や破損の恐れがありますので、底に乗ったりぶらさがったりしないでください。
- ねじやボルトは全て確実に締めてください。
- 施工後、ねじやボルトにゆるみやガタつき、その他使用上危険な箇所等がないか確認してください。
- 底の角度は指定角度範囲内で使用してください。
- 正規の施工方法以外での取付けや、改造等を行わないでください。

※ 改良のため、予告なく製品の一部を変更する場合があります。御了承ください。

■ 部材名称 RS-K/KR 先端樋なし



■ 部材名称 RS-KST 先端樋つき



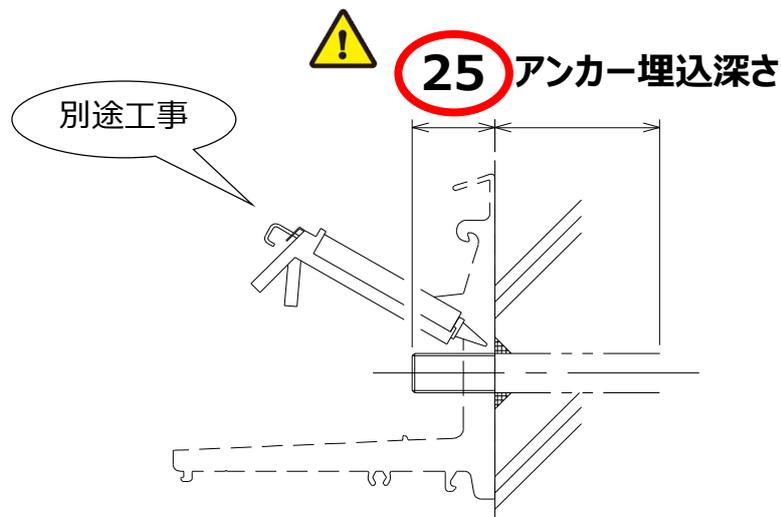
■ 施工手順

1. 墨出しをする

アンカープランに従い、墨出しを行ってください。

2. 壁軸材の取付ボルトを準備する

- ボルト出し長さは 25mm です。



準備するもの

- 取付ボルト M12 (別途)

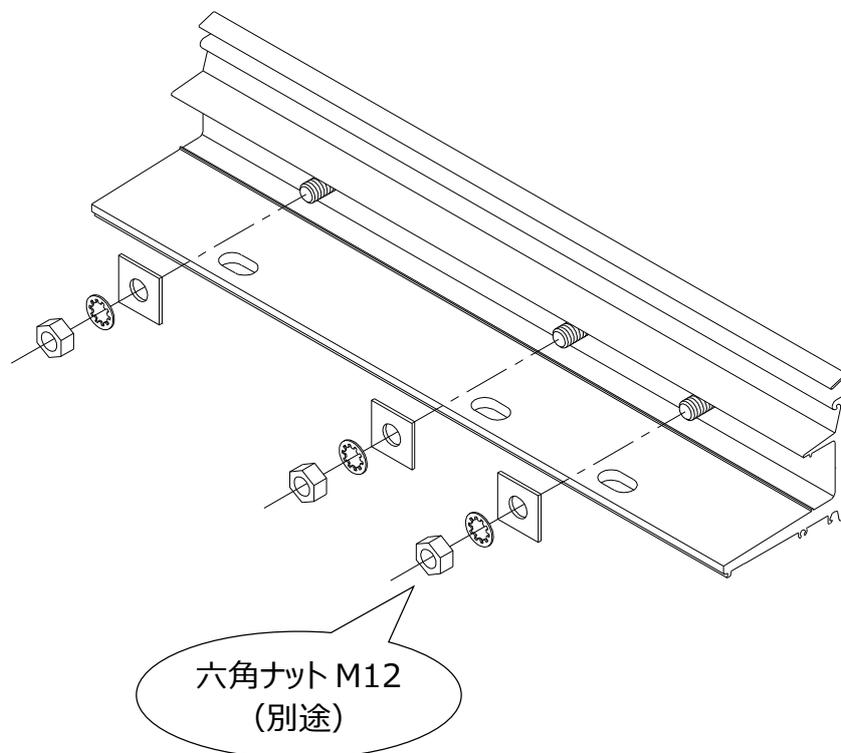
⚠ 注意

- ☑ アンカーの埋込深さは、仕上モルタルやタイル等の仕上材厚さを含まず、躯体部分に確実に入るようにし、規定寸法を確認してください。
- ☑ あと施工アンカーによる施工は RC 躯体のみです。
- ☑ アンカー取付位置については、アンカープランにてご確認ください。
- ☑ アンカーは、アンカーに発生する引抜力に対し、十分安全であることを確認し使用してください。
- ☑ 躯体によりアンカーピッチを変更する場合は、壁軸材に新設穴をあけて取付けてください。アンカー数は減らさないでください。

4. 壁軸材を取付ける

! 壁面の出入りを調整し、壁軸材を取付けてください。

壁軸材は角座金と歯付座金を使用し、取付ボルトを本締めします。

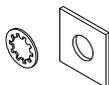


準備するもの

- 壁軸材

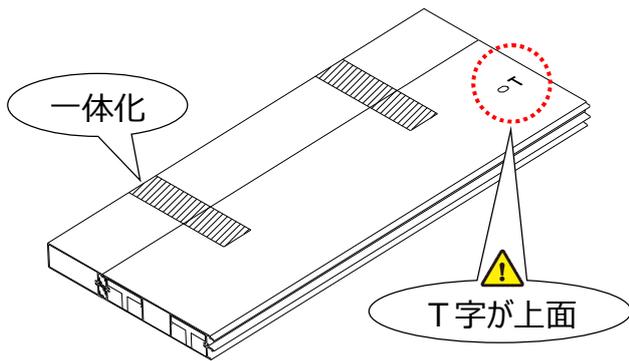


- 角座金 □32 t 2.3
- 歯付座金 M12
- 六角ナット M12 (別途)



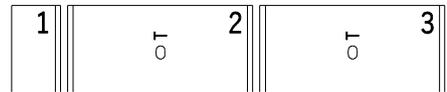
5. 中間材・端部材を取付ける

〈 準備 〉 中間材と端部材を養生テープ等で一体化します（仮止め）。

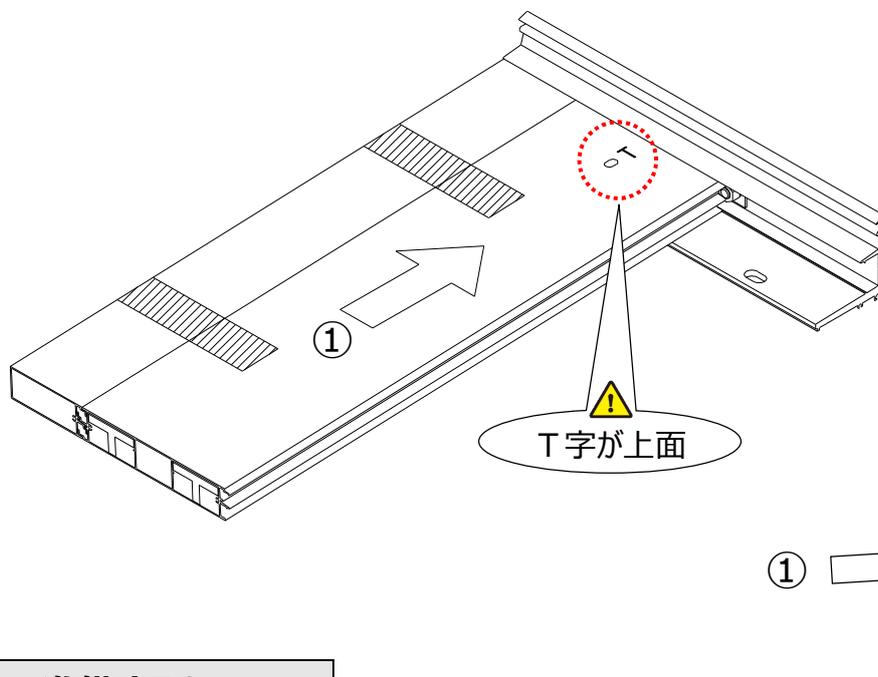


⚠ ステンカラー色の場合

取付けの順番は、左から 1.2.3...



① 中間材と端部材を壁軸材の突起に当たるまで奥まで差し込みます。



⚠ 注意

中間材には上下があります。取付穴横に「**T**」の刻印がある面を上面になるように取付けてください。

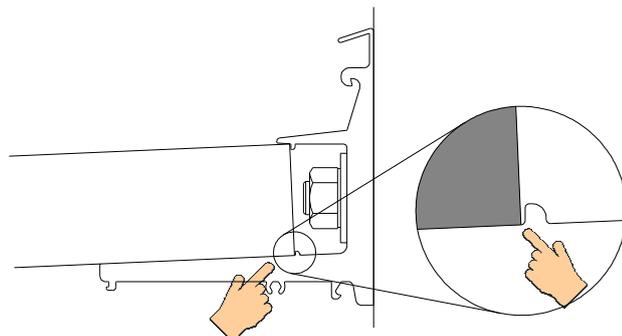
上下逆に取付けると水漏れの原因となります。

準備するもの

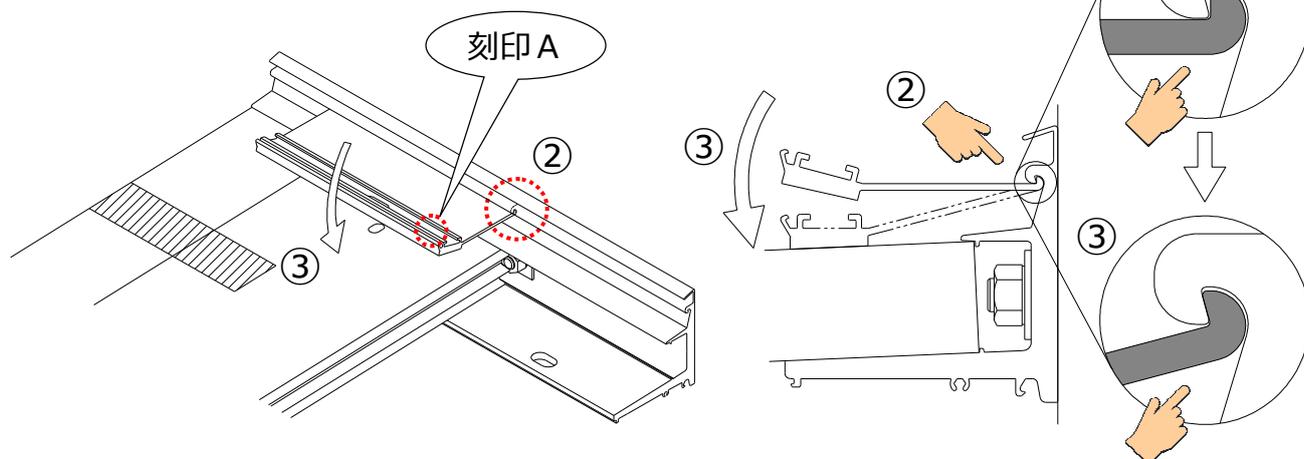
- 中間材 200
- 端部材 100

⚠ 注意

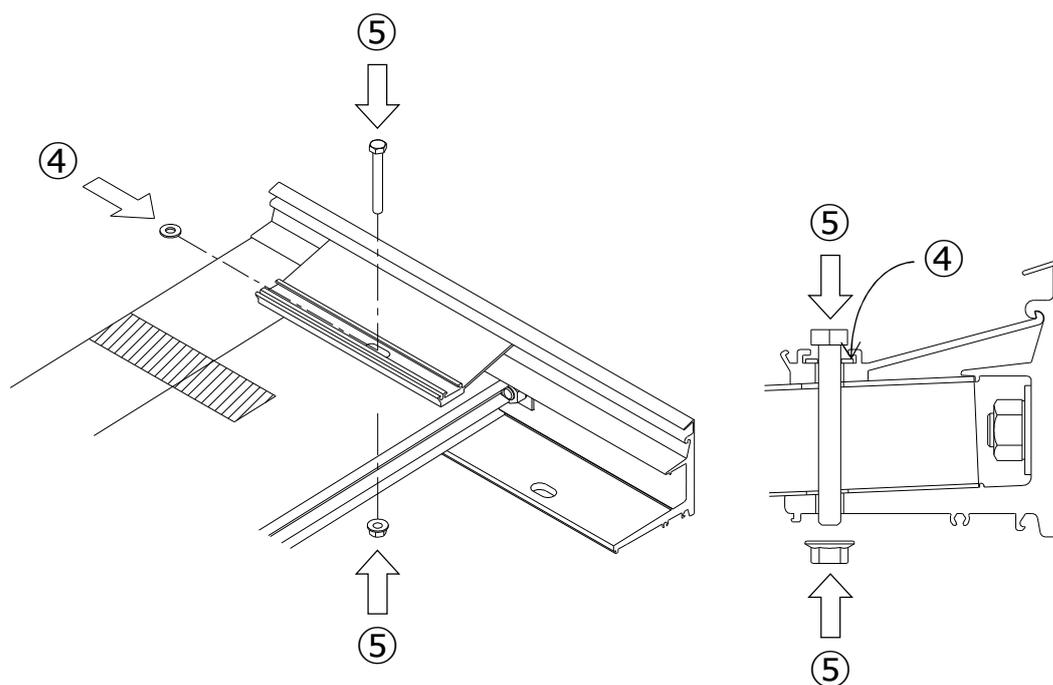
中間材と端部材が壁軸材の突起に当たっていることを確認してください。



- ② パネル軸材を壁軸材に引っかけて
- ③ 回転させます。



- ④ パネル軸材の溝に平座金を差し込み
- ⑤ 六角ボルト、フランジナットで締結します。

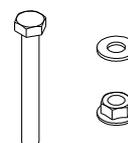


準備するもの

- パネル軸材
L=220
(刻印 A、左端部)

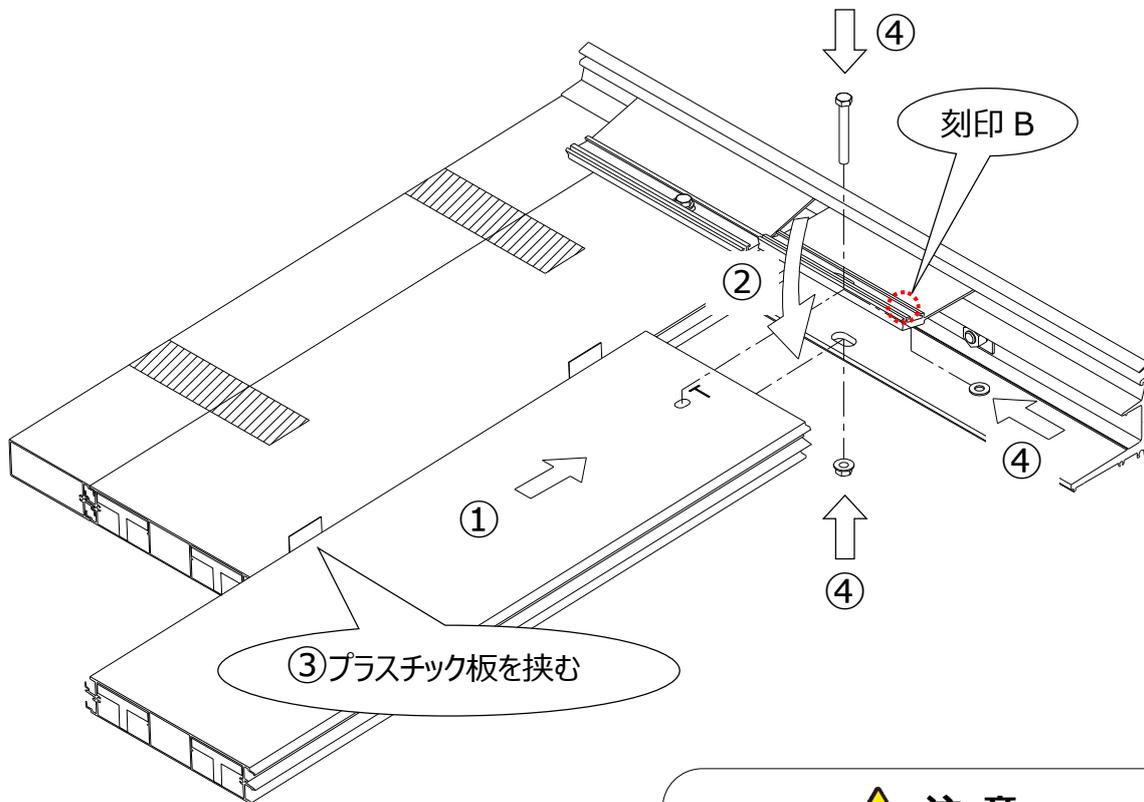


- 六角ボルト M8×65
- 平座金 M8
- フランジナット M8



6. 2本目以降の中間材・端部材を取付ける

- ① P 5の手順で中間材を壁軸材に差し込みます。
- ② P 6の手順でパネル軸材を壁軸材に引っかけて回転させます。
- ③ 中間材同士の目地にプラスチック板をはさみ、0.5mmの目地を設けます。
(※) 中間材締結後に取り外して再利用してください。
- ④ パネル軸材の溝に平座金を差し込み、ボルトナットで締結します。

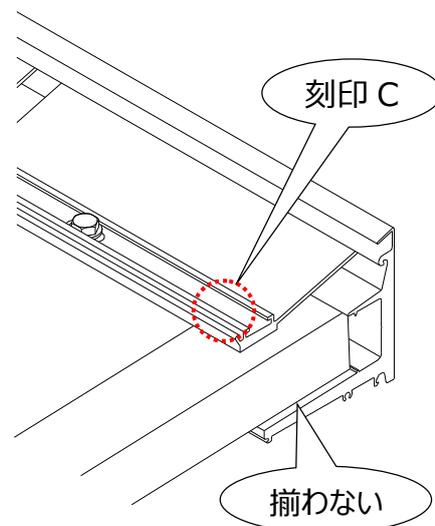


準備するもの

- 中間材 200 
- 端部材 100 
- パネル軸材
L=180 (刻印 B) 
L=220 (刻印 C、右端部)
- プラスチック板 t0.5 
- 六角ボルト M8×65 
- 平座金 M8 
- フランジナット M8 

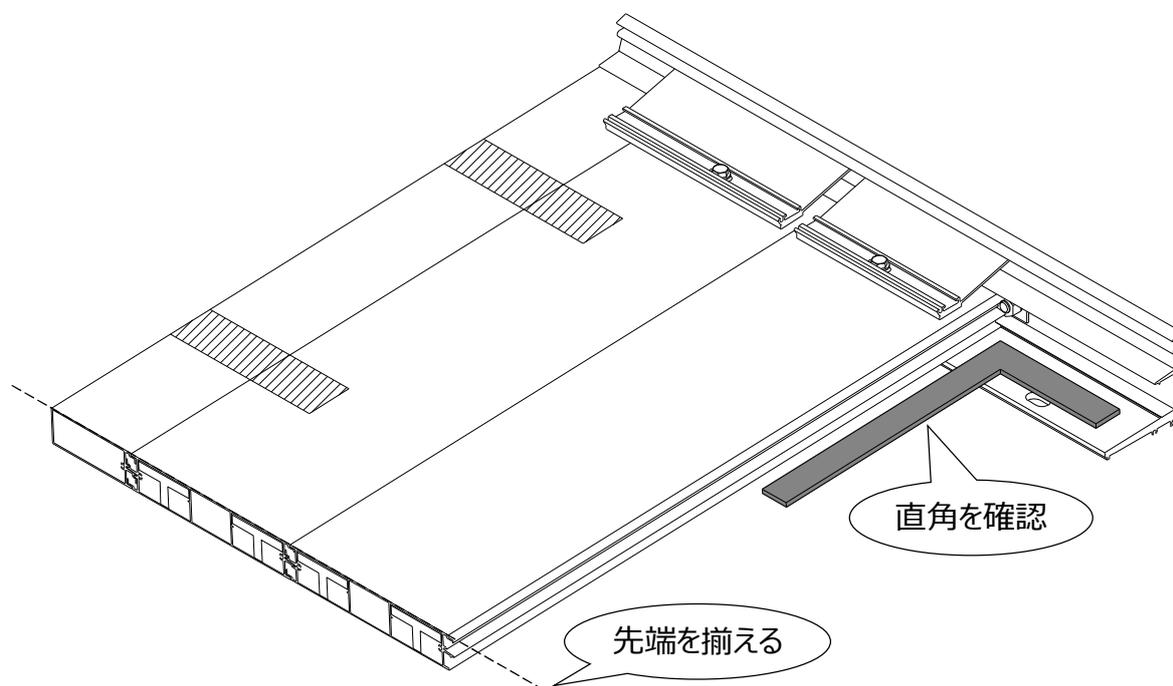
⚠ 注意

既定の目地を設けないと、端部材と壁軸材との面が揃わない場合があります。



揃わない場合は、小口蓋を取付けた後、隙間に防水シールを施してください。

- ※ 中間材は、壁軸材と直角（90°）で取付けられていることを確認しながら取付けてください。
- ※ 中間材は、先端側が揃っていることを確認しながら取付けてください。



⚠ 注意

中間材を奥まで差し込んでいなかったり、壁軸材と直角に取付けられていないと、先端側が揃わなくなる場合があります。

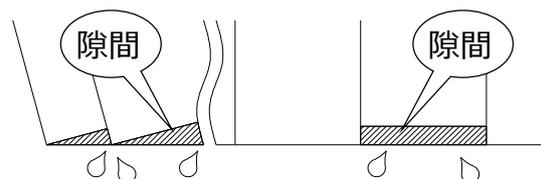
先端見切取付時に中間材との間に隙間が出来ると水漏れの原因となりますので、直角と先端が揃っていることを確認しながら取付けてください。



中間材の先端を揃える



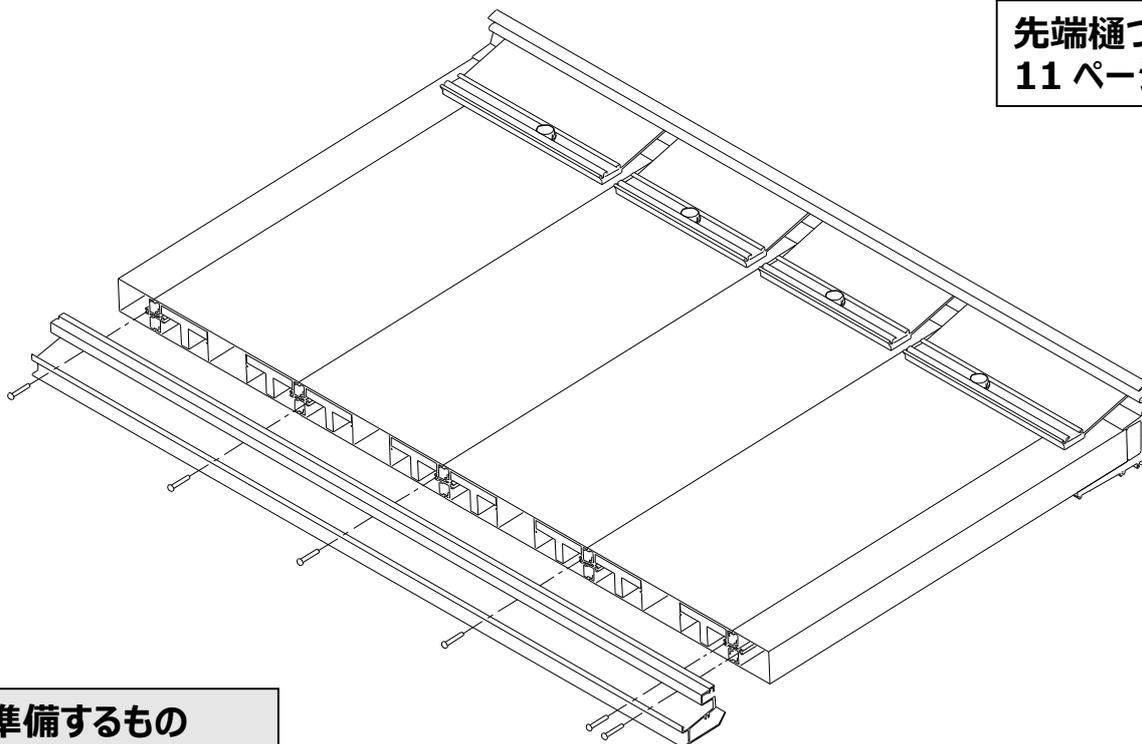
直角が出ていない
先端が揃っていない



7. 先端見切（下）を取付ける（先端樋なし）

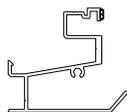
中間材の先端が揃っていることを確認し、先端見切（下）をトラスタッピンねじで取付けます。

先端樋つきは
11 ページへ⇒



準備するもの

- 先端見切（下）

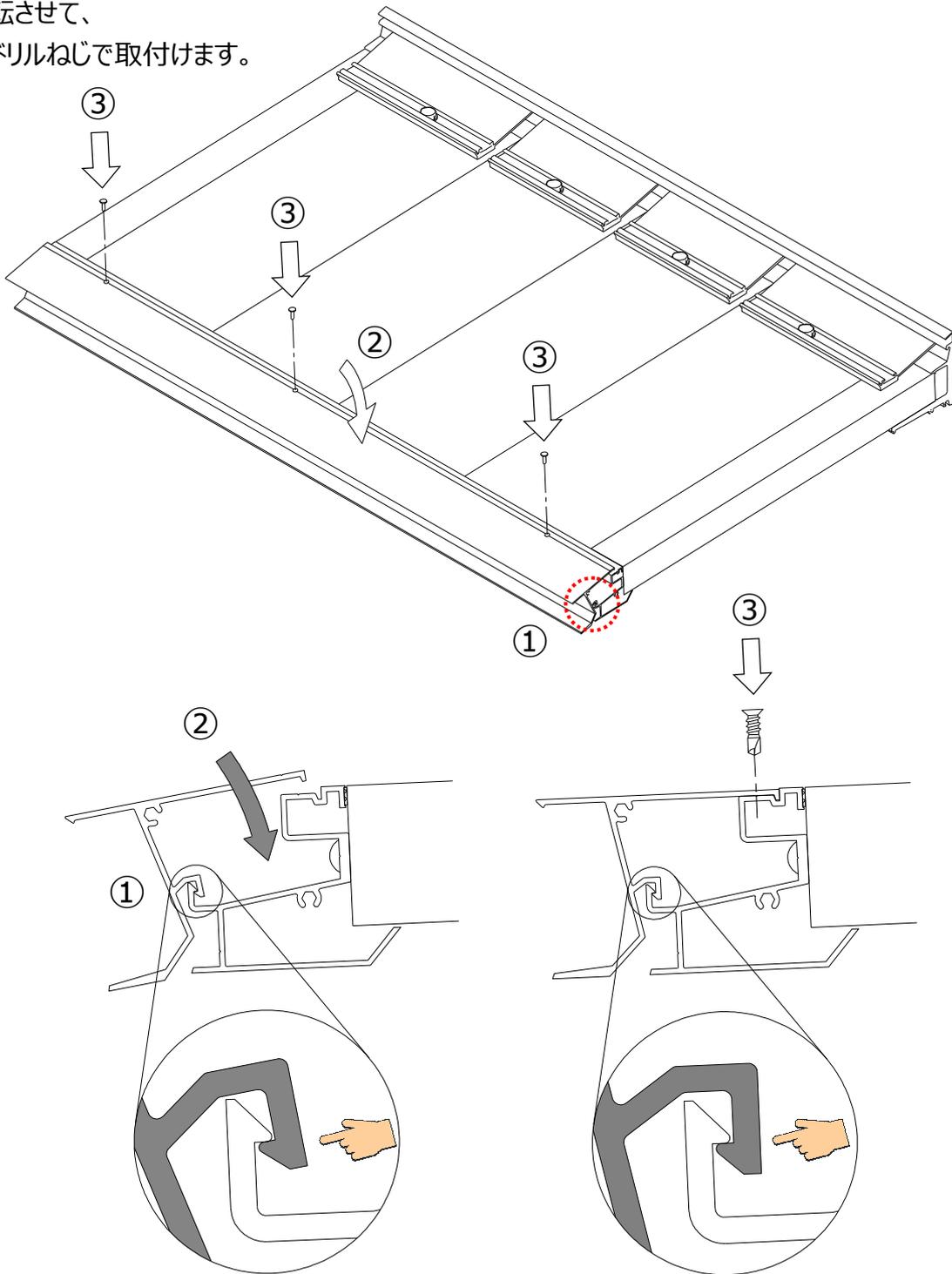


- トラスタッピンねじ 4×25



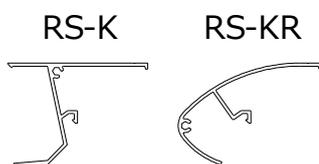
8. 先端見切（上）を取付ける（先端樋なし）

- ① 先端見切（上）を先端見切（下）に引っかけて、
- ② 回転させて、
- ③ 皿ドリルねじで取付けます。



準備するもの

- 先端見切（上）



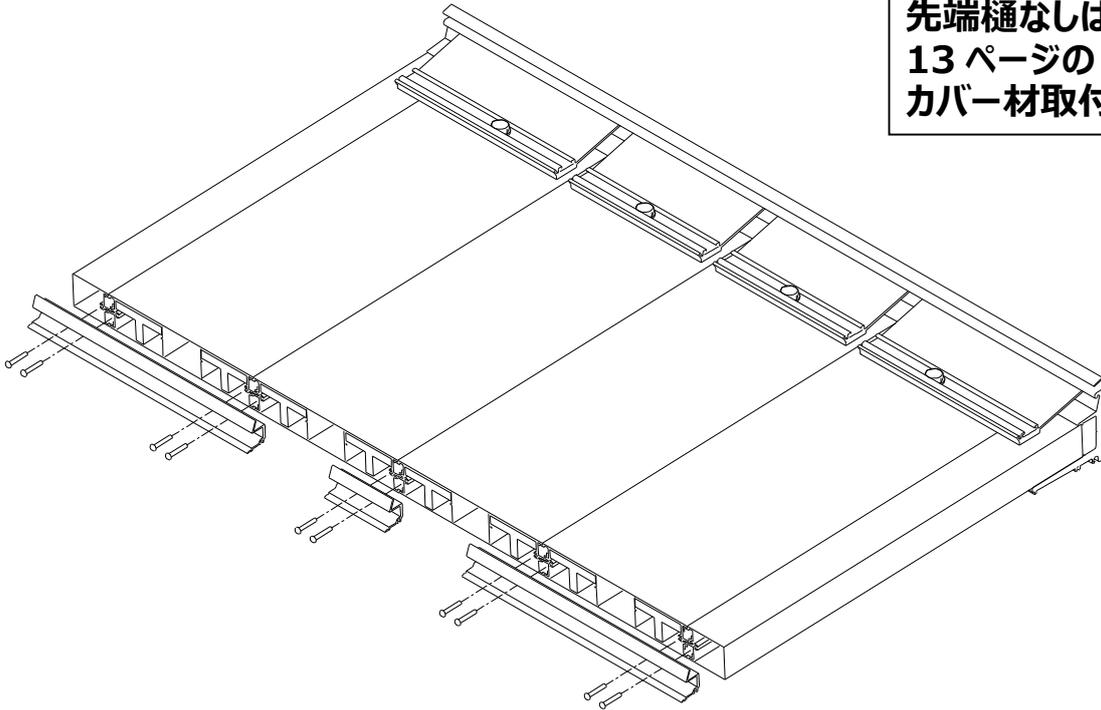
- 皿ドリルねじ 4×13



9. 先端見切 Bracket を取付ける (先端樋つき)

中間材の先端が揃っていることを確認し、先端見切 Bracket をトラスタッピンねじで取付けます。

先端樋なしは
13 ページの
カバー材取付けへ⇒



準備するもの

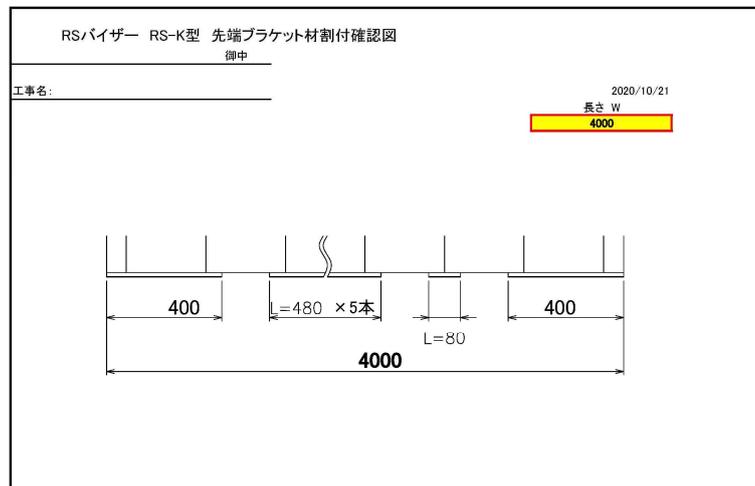
- 先端見切 Bracket
 - ・端部用
L=300 または 400
 - ・中間部用
L=480、80



- トラスタッピンねじ 4×25

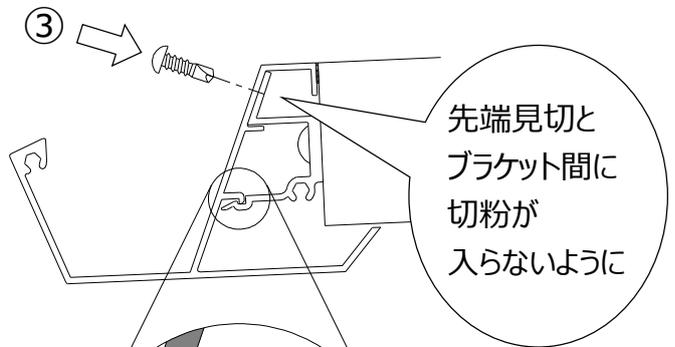
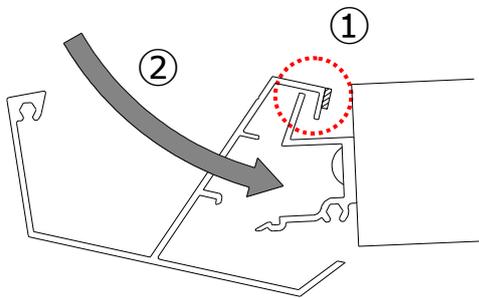
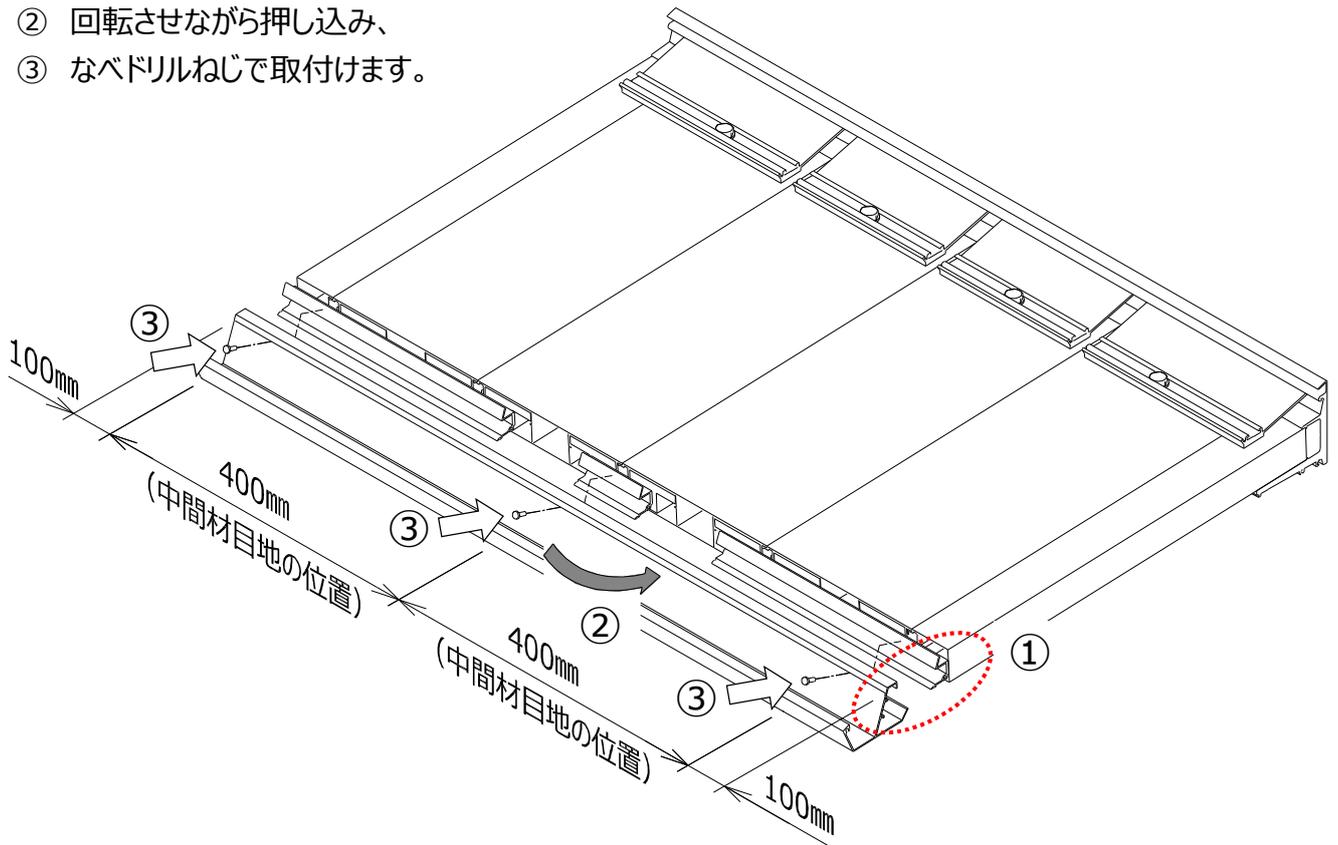


- 先端見切 Bracket
割付確認図
(A4 サイズ)



10. 先端見切を取付ける (先端樋つき)

- ① 先端見切をブラケットに引っかけて、
- ② 回転させながら押し込み、
- ③ なべドリルねじで取付けます。



準備するもの

- 先端見切

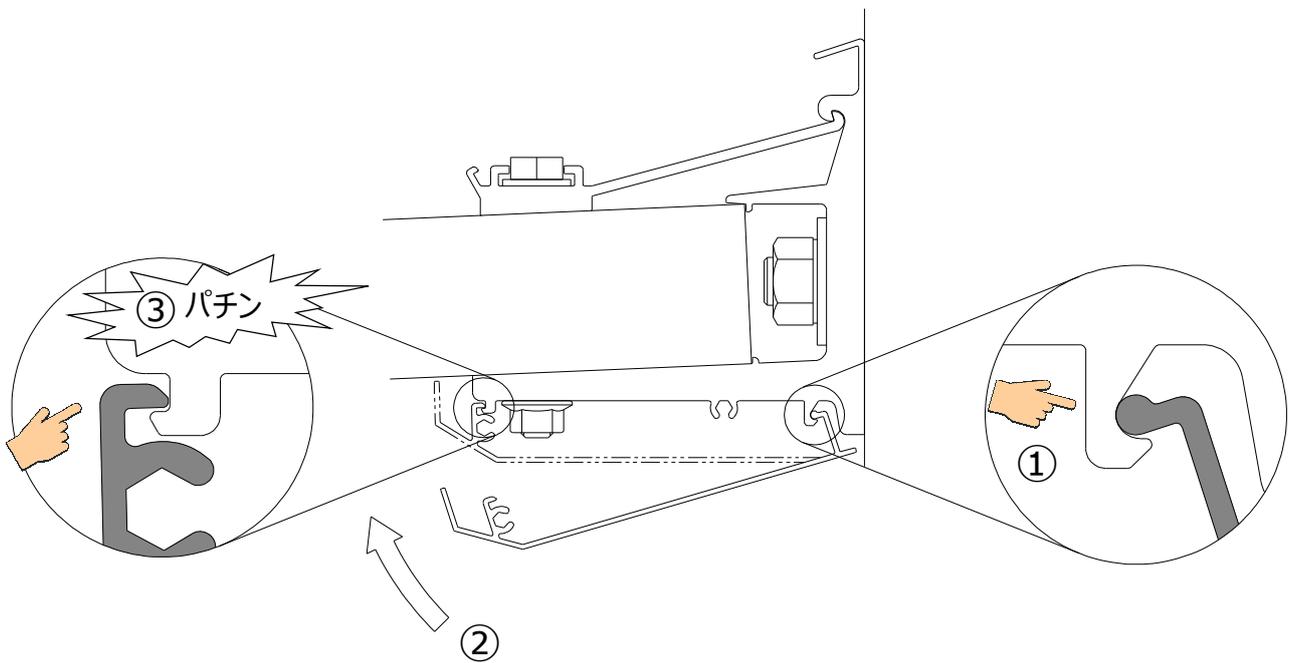
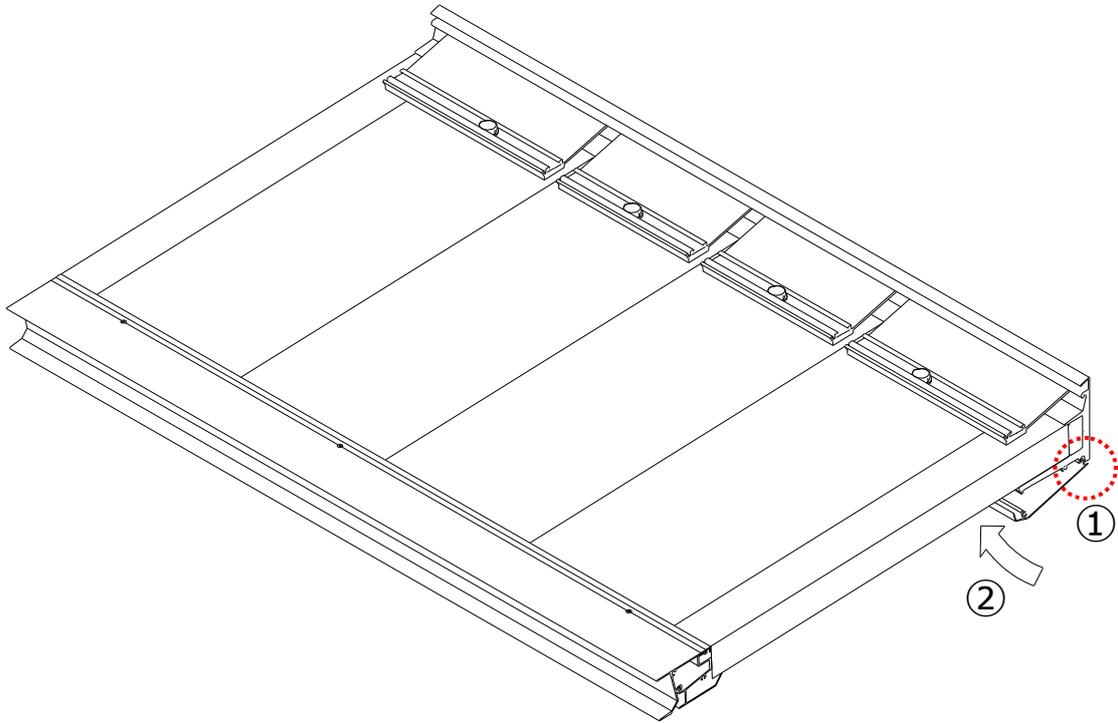


- なべドリルねじ 4×13



11. カバー材（小）を取付ける

- ① カバー材（小）を壁軸材に引っかけて、
- ② 回転させて、
- ③ パチンと音がするまで押し込んで取付けます。



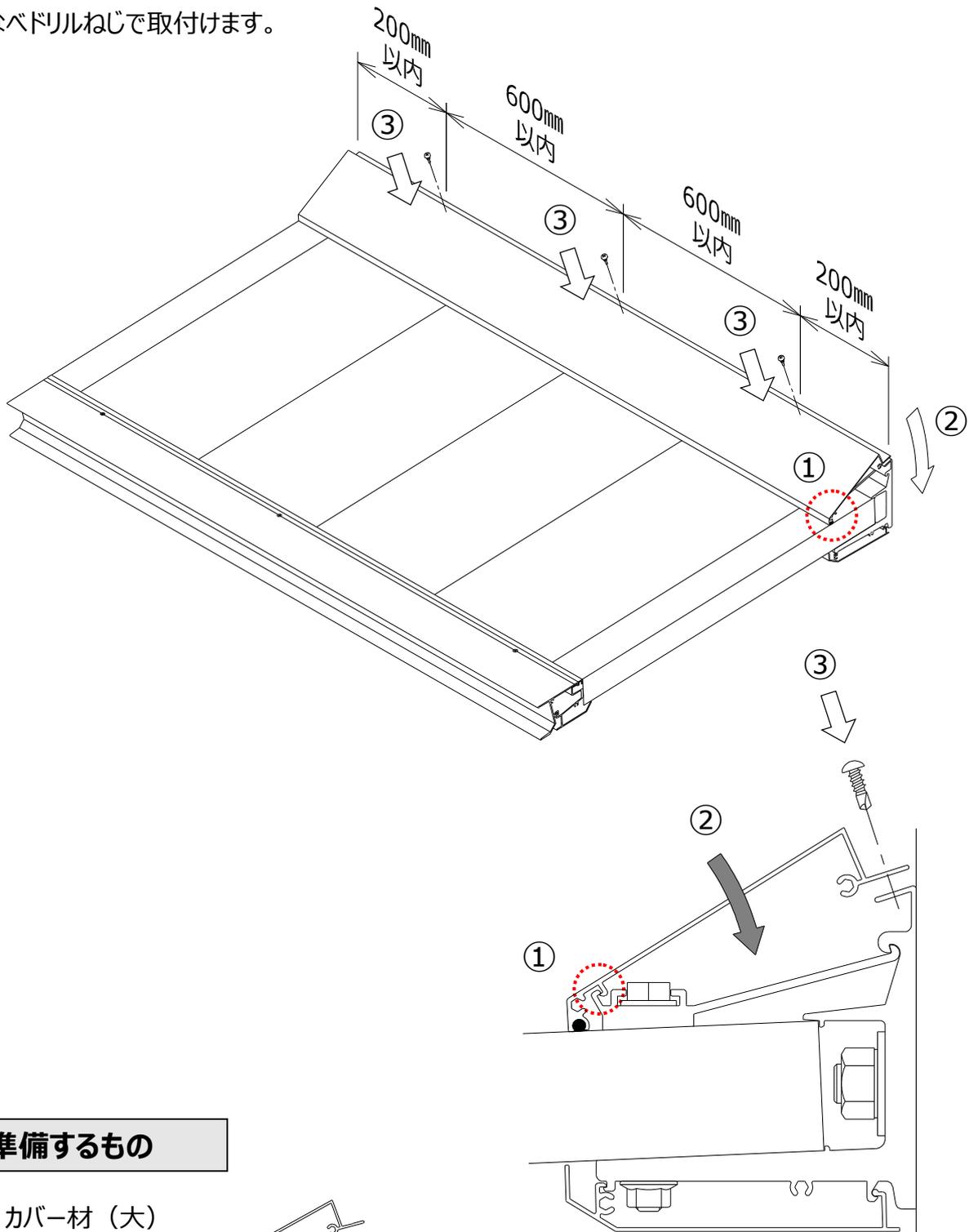
準備するもの

- カバー材（小）



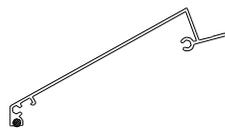
12. カバー材（大）を取付ける

- ① カバー材（大）をパネル軸材に引っかけて、
- ② 回転させて、
- ③ なべドリルねじで取付けます。



準備するもの

- カバー材（大）

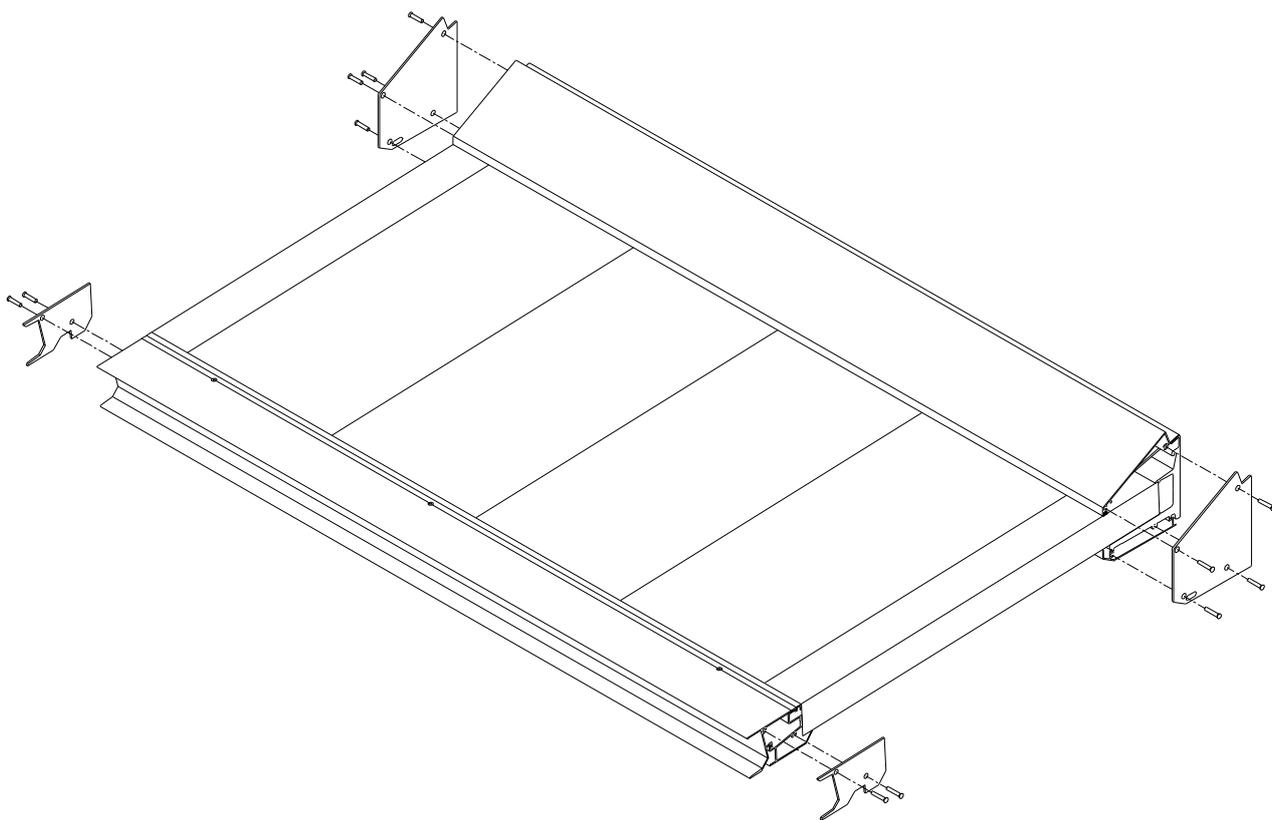


- なべドリルねじ 4×13



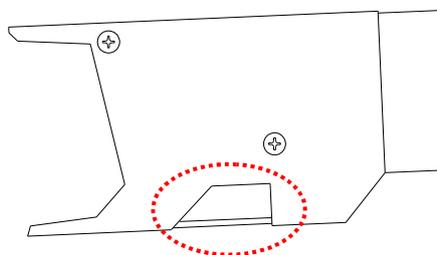
13. 小口蓋を取付ける

小口蓋を皿タッピンねじで取付けます。



⚠ 注意

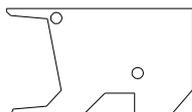
小口蓋の排水穴は
ふさがないでください。
**ふさいでしまうと、
水漏れすることがあります。**



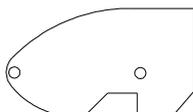
準備するもの

- 先端見切小口蓋

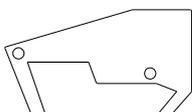
RS-K



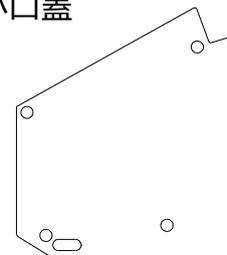
RS-KR



RS-KST



- 壁軸材小口蓋

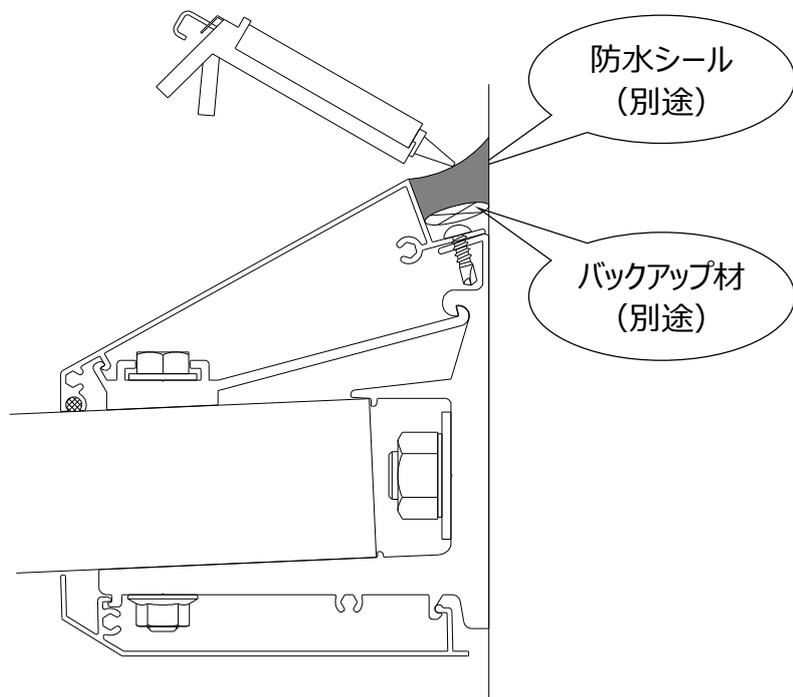
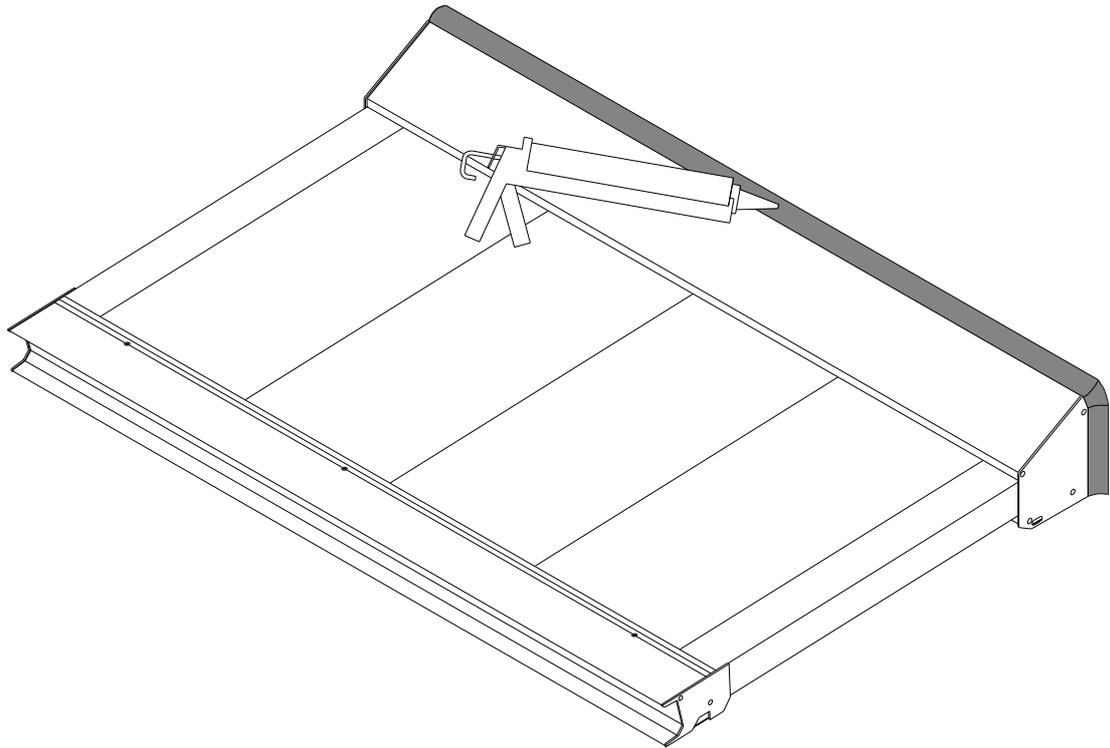


- 皿タッピンねじ 4×16



14. 防水シール工事（別途）

壁軸材の上部、端部に防水シールを施します。



準備するもの

- バックアップ（別途）
- 防水シール（別途）

⚠ 施工確認チェックシート

P.3 以降の施工手順中の重要なポイントをまとめていますので、ご確認ください。

項目	チェック	内容	ページ
壁軸材 取付ボルト		ボルト出しの長さは規定寸法ですか？ 【壁軸材】25mm	P.3
壁軸材		壁面の出入りは調整しましたか？	P.4
		取付ボルトは、規定数量通り確実に取付けましたか？	
		水平の確認は出来ていますか？	
中間材		取付穴横の「T字」刻印が上面になっていますか？	P.5
		壁軸材の突起に当たっていますか？	
		【ステンカラーの場合】左から順番通り取付けましたか？	
		中間材と壁軸材が直角（90°）であることを確認しましたか？	P.8
		中間材の先端が揃っていますか？	
パネル軸材		壁軸材に引っかかっていますか？	P.6
小口蓋		先端見切小口蓋の排水穴をふさいでいませんか？	P.15
防水シール		指示箇所は全て防水シールを施しましたか？	P.3、16
ねじ・ボルト類		規定箇所に正しく取付けされていますか？	全般